

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的や意図に応じ、話の中心を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。
- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができる。
- 提示された情報をどのように整理されているかを見付ける力に課題がある。

【算 数（数学）】

- 加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができる。
- 伴って変化する2つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい情報を正確に求めることができる。
- 示された日常生活の場面を解釈し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかを考えることに課題がある。

2 児童（生徒）質問紙に関する結果の概要

- 睡眠時間を十分にとることや朝食をとるといった生活習慣が確立されている。
- 地域の行事に参加する児童が全国に比べて2倍ほど高い。
- 自分のよいところや夢や目標をもつことが全国に比べて半分程度である。
- 地域のためや人のために何かをしてみようとする意識に課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科の自由進度学習の実施
- ・授業改善の推進（子供自身が学習を進める「セルフ授業」を取り入れた授業）
- ・単元テストによる国語、算数で定着が不十分だった内容の重点指導

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・「セルフ授業」の改善及び全校への拡充
- ・算数科のぐんぐんタイムの問題内容や実施方法の検討
- ・全校「かけ算九九チャレンジ」
- ・全校「縦割り学習タイム」

(2) 児童（生徒）質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・コミュニケーションボードを活用しての対話活動の実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・学校だよりや保健だより、学年学級通信等で早寝・早起き・朝ご飯といった望ましい生活習慣を定着させるための本人及び保護者の意識や行動を変容させる継続的な呼びかけ
- ・学年研修会等における学力向上のための研修会の実施、交換授業の実施